

令和7年6月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年6月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「家庭用電気機器」、「ポンプ及び遠心分離機」、「映像機器」などが増加したことから対前年同月比4.1%の増加となった。また、輸入は「医薬品」「科学光学機器」などが減少したものの、「有機化合物」、「半導体等電子部品」、「原動機」などが増加したことから、同13.7%の増加となった。

その結果、差引額は50億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,135億円	+4.1%	1,186億円	+13.7%	▲50億円	—
9カ月連続の増加			25カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 家庭用電気機器	46億円	+82.0%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	109億円	24倍		
		(2) ポンプ及び遠心分離機	25億円	+54.8%			(2) 半導体等電子部品	163億円	+45.4%		
		(3) 映像機器	9億円	+335.5%			(3) 原動機	215億円	+14.9%		
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	102億円	▲13.8%		減少品目	(1) 医薬品	67億円	▲41.8%		
		(2) 電気計測機器	56億円	▲17.8%			(2) 科学光学機器	32億円	▲33.2%		
		(3) 科学光学機器	38億円	▲21.5%			(3) 航空機類	54億円	▲20.7%		
主要地域 増 減					主要地域 増 減		主要地域 増 減				
アジア、アメリカが増加、EUは減少					アジア、アメリカが増加、EUは減少		アジア、アメリカが増加、EUは減少				

（参考）ドルレートは、144.04円（前年同月比8.0%、12.6円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。